

講座実施報告（FIC 会員向け）

講座名	第2回みどりの教室 ～習志野名木と珍しい里山桜を鑑賞～		
開催日時	2025年 4月 8日（火） 10時 ～ 15時30分		
開催場所	京成大久保駅周辺～実籾本郷公園（習志野市）	一般参加者	18名

①活動概要（FIC 会員向けであることを意識して作成をお願いします）

[みどりの教室]では最初の野外講座です。野外観察が楽しかったと思えることが今回の重要目的として講座を企画・実施しました。

習志野は明治から昭和にかけての戦跡が多く残っており、植物の説明と絡めながら街歩きの要素も入れました。

○京成大久保駅を出発し[硫黄島からの手紙]の栗林中将の記念碑とアカガシ、[習志野騎兵旅団司令部跡][習志野騎兵連隊跡]とユリノキなどを観察。途中シロバナタンポポを鑑賞。小金牧の南端で縄文海進がみられる崖を下り鯉が泳ぐ浜田川源流へ。そこでは高木のウコンが咲き始めていました。かつての海底を歩く感触を感じながら多くのサトザクラが満開の実籾本郷公園へ。

色とりどりの桜にかこまれ昼食

○実籾本郷公園：享保12年（1727）頃作られ平成12年（2000）に修復された旧鴛田家住宅の見学とその庭での美しい姿のタギショウ、珍しいシロマツを鑑賞。旧鴛田家の屋根は、かつてこのあたりは浜田川河畔の入会地（草刈り場）でそこで取れたカヤを利用したことも容易に推察できた。

○桜広場：縄文時代の人骨が発見されたすぐ近くの丘を遠見し桜広場へ。ゲバザクラなど種々サトザクラ、シンダイアケボノのもととなる米国からの里帰り桜・アメリカ（満開）を鑑賞

○大原神社：[連理の枝]を連想するアカガシとクロマツ、ギョイコウ、キンギョバツバキを鑑賞。ムクロジの種子でアワの演出を楽しんだ。

今まで数回の桜の時期に講座を実施しましたが、ソメイヨシノ、ウコン、ギョイコウの花が一日で全部見られたのは初めてのことでした。

野外講座のいろいろな楽しみ（植物、歴史、文化、地理）が判っていただけだと思います。

② ^ 珍しい動植物、珍しい生態（写真があれば紹介）

シロマツ



シロバナタンポポ



ウコン



ギョイコウ



アメリカ 樹形



アメリカ 花



③講座内容、運営で良かった点、今後にお勧めしたい点

4月1日の開講講座で参加者の希望をお聞きしていただきましたので、なるべくその希望に沿うように企画と案内を実施した。ルートが小学校の中を通るので下下見の際に通行の許可を学校側より取っていたので問題なく進行できた。

④講座内容、運営で反省する点、今後はお勧めできない点

2班編成で実施したのでトイレ後の最集合の際、人数把握に手間取った。
緑化植物園事務員に次回より班ごとに色違いにシールを貼ってもらうよう依頼した。
拡声器も各講師が使えるようお願いした。 両方とも了解をもらいました。

① ヒヤリハット（担当理事と確認後、特になければナシと記載）

ナシ

（FIC 参加者）

チーフ講師：森池 正典

アシスタント講師：坂本 玲子

オブザーバー：西村 安正

（作成：森池正典

）